

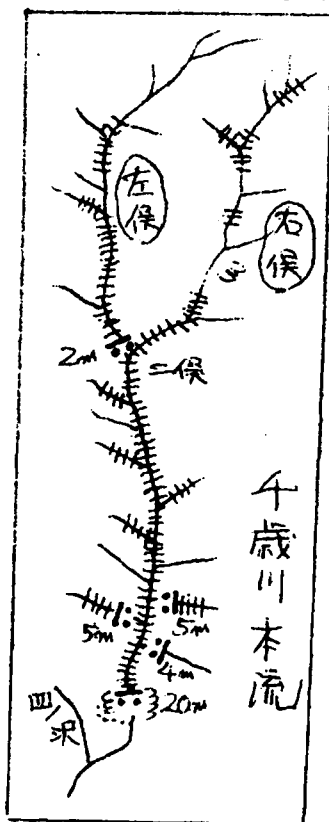
# 千歳川流域の沢

千歳川は、阿武隈川の上流帯を構成する支流の一つである。源流部は楽翁溪とよばれる景勝地。岩と水と緑の組み合わせ。ハイキングコースがひらかれていたが、今は林道が奥まで入りこんでいる。右岸一帯は、自衛隊布引山演習場となっている。

## 千歳川本流左俣

1987年8月15日

千歳川流域の支沢の調査を終えて、最後に千歳川本流の遊行に挑む。三ノ沢(仮称)出合から遊行を開始。すぐ20mの滝。右岸を高捲く。ここの高捲きは、この流域の他の支沢の滝の高捲きと違って、比較的容易であった。



滝の上はやはりナメ。本流のナメは他の支沢のナメと違って、さすがに水量が多い。それに下部にはトイ状にえぐれた流れやおう穴もあって変化のある部分もある。

40分程ナメを歩くと二俣。左俣は3mの滝をかけているが、水量が多い。左俣に入る。

左俣に入っても、依然ナメは続く。しかし、沢幅はぐっと狭くなる。やがてブッシュがひどくなる。もう源流である。支沢を右へ右へと進み、カラマツ林が出てきたあたりで、尾根を越えて右俣の下降に移る。

[タイム] 遊行開始(11:55)→二俣(12:40)→遊行終了(13:05)

## 千歳川本流右俣

1987年8月15日